

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり

計画期間 令和元年度～令和5年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部・経済部

基本的方向

- 家庭や学校、職域、地域などで、生涯を通して積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。
- 生活習慣病の重症化予防や食育活動、生涯学習の推進、運動習慣の定着など、幼年期から高齢期まで健康に根ざした取組を支援します。
- 進んで健康的な生活習慣を実践する健やかで活力に満ちた市民の増加をめざします。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた取組を推進します。

戦略を構成する具体的施策の事業費推移

名 称	予算額									
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
(1) 健康増進活動の推進	24,387	千円	34,465	千円		千円		千円		千円
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	144,703	千円	155,669	千円		千円		千円		千円
計	169,090	千円	190,134	千円		千円		千円		千円

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標(1) 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
86.6						90.0

◆数値目標(2) 過去1年間に健康診査を受けた市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
66.7						70.0

◆数値目標【基盤】 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合(高齢期)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
48.8						55.0

◆数値目標【推進機能】 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合(健康に関する情報)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
45.4						50.0

具体的施策（１） 健康増進活動の推進

健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、市民が家庭、学校、職域、地域などで、生涯を通して、積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。

◆重要業績評価指標（KPI） 健康づくり事業への参加者（単位：人）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
9,927						10,000

＜令和２年度の方針＞

健康増進活動の推進に当たっては、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けるとともに、地域とのつながりを大切にし、健康づくりの輪を広げていくことが重要です。
 こうしたことから、令和２年度は、「えべつ市民健康づくりプラン21（第2次）後期行動計画」に基づき、小中学校における喫煙予防教室や生活習慣病予防教室の開催と、健康づくり推進員等による地域に根差した健康づくり活動をさらに推進するほか、健康経営の認知度向上等を図るため、セミナー実施などの普及啓発活動を進めます。
 また、江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向け、生涯活躍のまちコーディネーターを配置し、PRを推進します。

＜課題＞

- 子ども期から正しい生活習慣を身に付ける
- 自らの健康について関心を持つ市民の増加
- 運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
- 健康経営の認知度向上と具体的な取組内容の周知
- 生涯活躍のまちの認知度向上と生涯活躍のまち形成事業計画の推進

＜取組の概要＞

- ・保健師や看護師等による小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
- ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
- ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員、健康づくりサポーターと連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
- ・健康経営に関するセミナーなど普及啓発活動の推進
- ・生涯活躍のまちコーディネーターの配置とPRの推進

事務事業	成果指標	令和元年度	令和２年度	令和３年度	備考
健康づくり推進事業	参加者数	7,687 人	7,917 人	人	左記事業費は、健康相談経費2,375千円を含む
	補助事業参加者数	1,000 人	1,000 人	人	
	事業費	7,563 千円	7,371 千円	千円	
健康教育事業	健康教育事業参加者数	3,711 人	3,850 人	人	
	事業費	1,210 千円	1,124 千円	千円	
総合特区推進事業	健康企業・健康事業所宣言等の認定数	23 社	30 社	社	
	事業費	13,747 千円	12,958 千円	千円	
生涯活躍のまち整備事業	拠点地域内施設の利用者数等の数	0 人	215 人	人	
	事業費	3,977 千円	13,012 千円	千円	

具体的施策（２） 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めます。

◆重要業績評価指標（KPI） 過去１年間にがん検診を受けた市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
39.8						45.0

＜令和２年度の方針＞

疾病予防・重症化予防の促進に当たっては、みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめるとともに、バランスのよい食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ることが必要です。
 こうしたことから、令和２年度は、「生活習慣病予防に向けた野菜摂取アクションプラン」に基づき、野菜摂取の推進等による食からの健康づくりを進めるとともに、国民健康保険被保険者の健康増進と医療費の適正化が図られるよう、第２期データヘルス計画に基づいた「特定健康診査・特定保健指導」を実施するほか、「高齢者総合計画」に基づく通いの場の創設支援などにより、疾病の早期発見や重症化の予防等の取組を進めます。

＜課題＞

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

＜取組の概要＞

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・検（健）診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・生活習慣病予防に効果のある野菜摂取推進の取組を実施
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施

事務事業	成果指標	令和元年度	令和２年度	令和３年度	備考
健康都市推進事業	健康のために心がけていることがある市民割合	88.8 %	89.0 %	%	
	事業費	3,336 千円	2,411 千円	千円	
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	14.9 %	15.2 %	%	
	事業費	74,626 千円	79,361 千円	千円	
特定健康診査等事業【国保特会】	特定健診受診率	28.4 %	29.5 %	%	
	特定保健指導利用率	38.3 %	39.5 %	%	
	事業費	61,420 千円	68,142 千円	千円	
一般介護予防事業【介護特会】	介護予防出前講話の受講人数	1,298 人	1,464 人	人	
	通いの場等での専門職講話の受講人数	533 人	760 人	人	
	事業費	5,321 千円	5,755 千円	千円	